

イワキグループビジョン NEXT10

および中期経営計画2027について

2025年5月14日

株式会社イワキ



NEXT10

CONTENTS

01 前長期ビジョン イワキグループ 10年ビジョン 総括

02 新長期ビジョン イワキグループビジョン NEXT10

03 中期経営計画2027

01 前長期ビジョン イワキグループ 10年ビジョン 総括

2016年3月期～2025年3月期までの10年間を対象として、2015年に策定。

連結売上高**400億円**(国内200億、海外200億)、営業利益率**10%**を定量目標とし、当該定量目標は1年前倒しで達成した。

イワキグループ10年ビジョン (以下、10年ビジョン)

定量目標

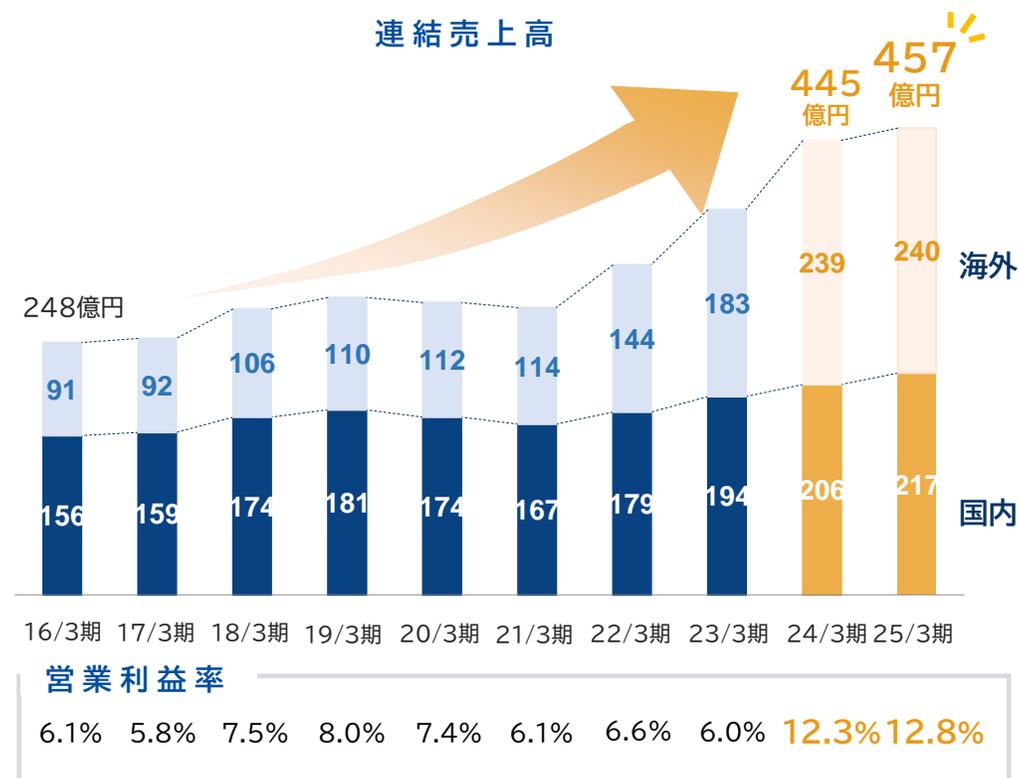
連結売上高 **400億円** (国内200億、海外200億)

営業利益率 **10%**

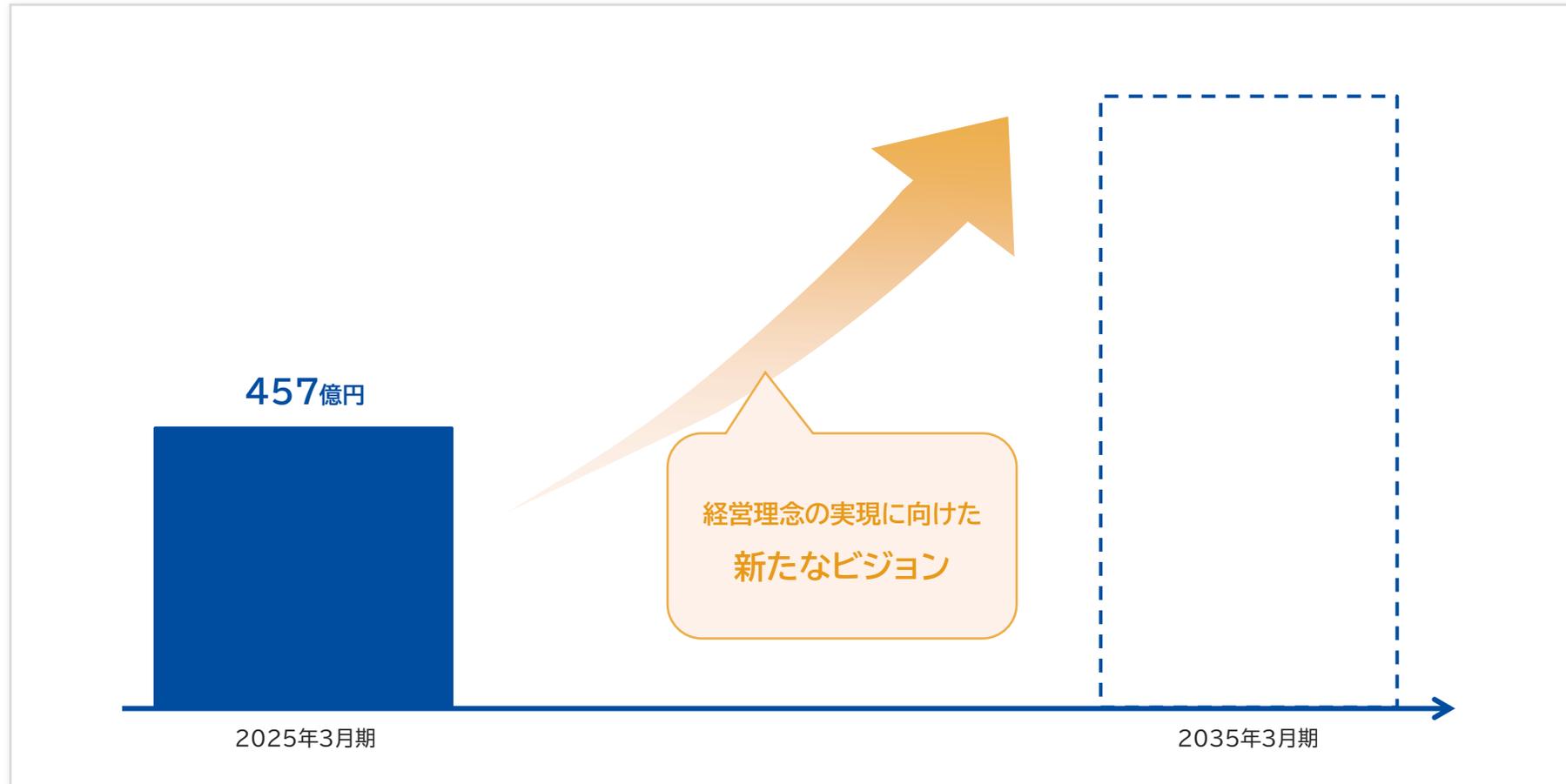
オールイワキで世界No.1を提供する
 ~グループ一丸となり、世界No.1の製品、品質、価値、サービスを提供する~

目標を達成するための姿勢「チェンジ&チャレンジ」
 ~変革と挑戦に躊躇しない企業文化の定着を目指す~

定性目標



経営理念の実現に向け、変化する社会や多様化するニーズに対応し続けるとともに、持続可能な社会の実現に貢献すべく、環境や社会に配慮した取り組みを進めていくことで**企業価値を高めてまいります。**



02 新長期ビジョン イワキグループビジョン **NEXT10**

常に最前線で産業を支え、
社会の発展と人々の幸福に寄与する。



ありたい姿

これからの暮らしの流れを支える

Aid daily life globally, evolving for future needs.

「イワキグループビジョン NEXT10」(以下、NEXT10)では、
経営理念体系における「ありたい姿」をトップメッセージとする。

NEXT10

「ありたい姿」とその「ありたい姿」の実現に向けた基本方針を定性目標とする。

定性目標

ありたい姿

これからの暮らしの流れを支える
Aid daily life globally, evolving for future needs.

基本方針

事業活動を通じて世界中の IWAKI ファンを増やし、
持続可能な世の中づくりに貢献する。



NEXT10

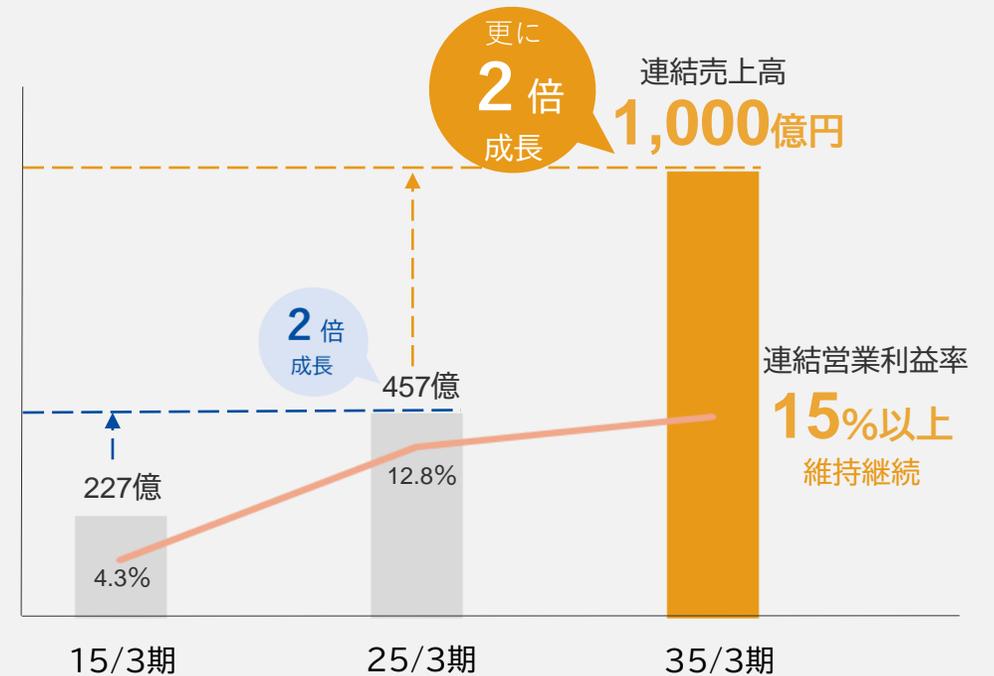
定量目標

2035年3月期

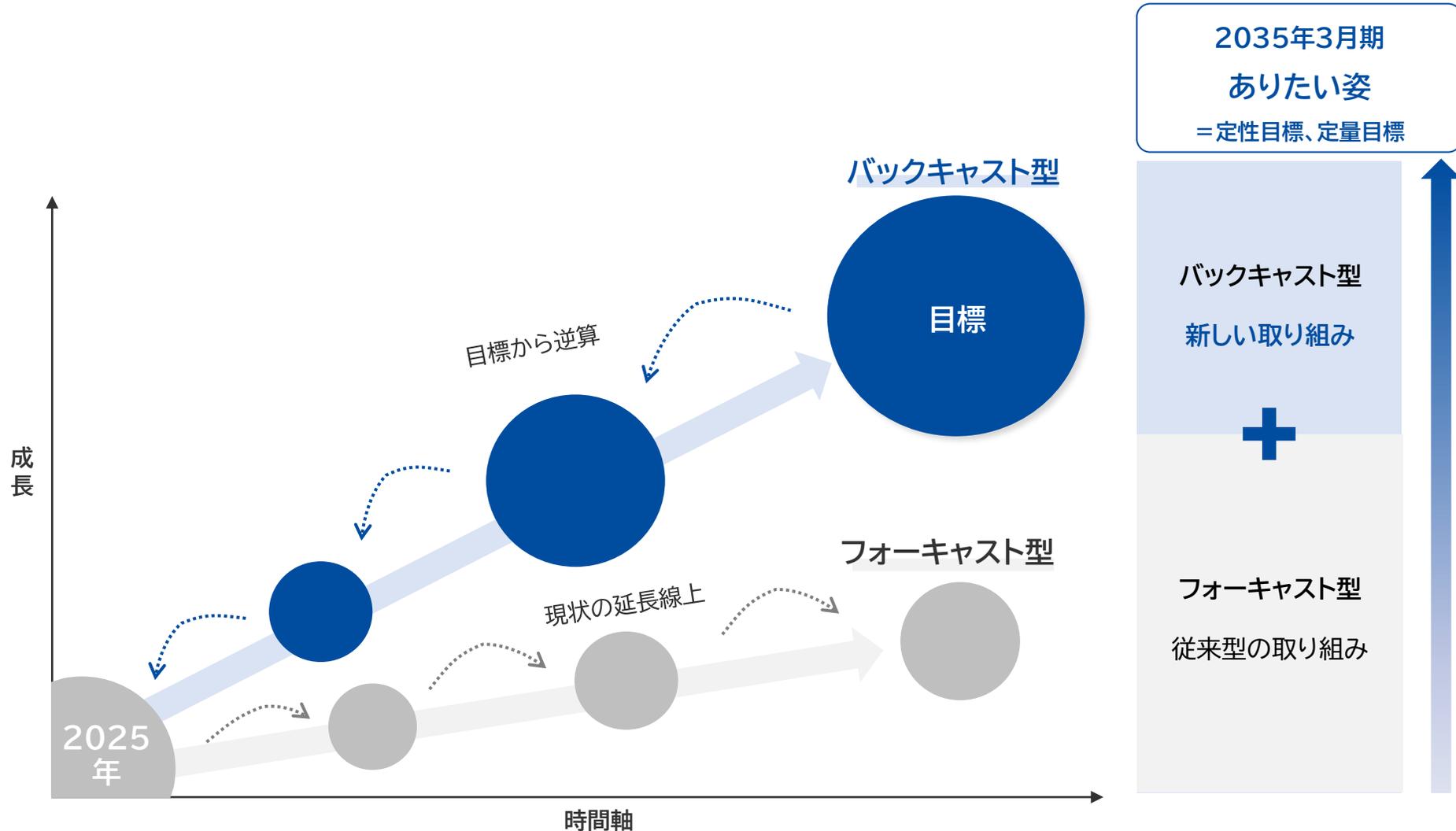
連結売上高 **1,000** 億円

連結営業利益率 **15%**以上 を維持継続

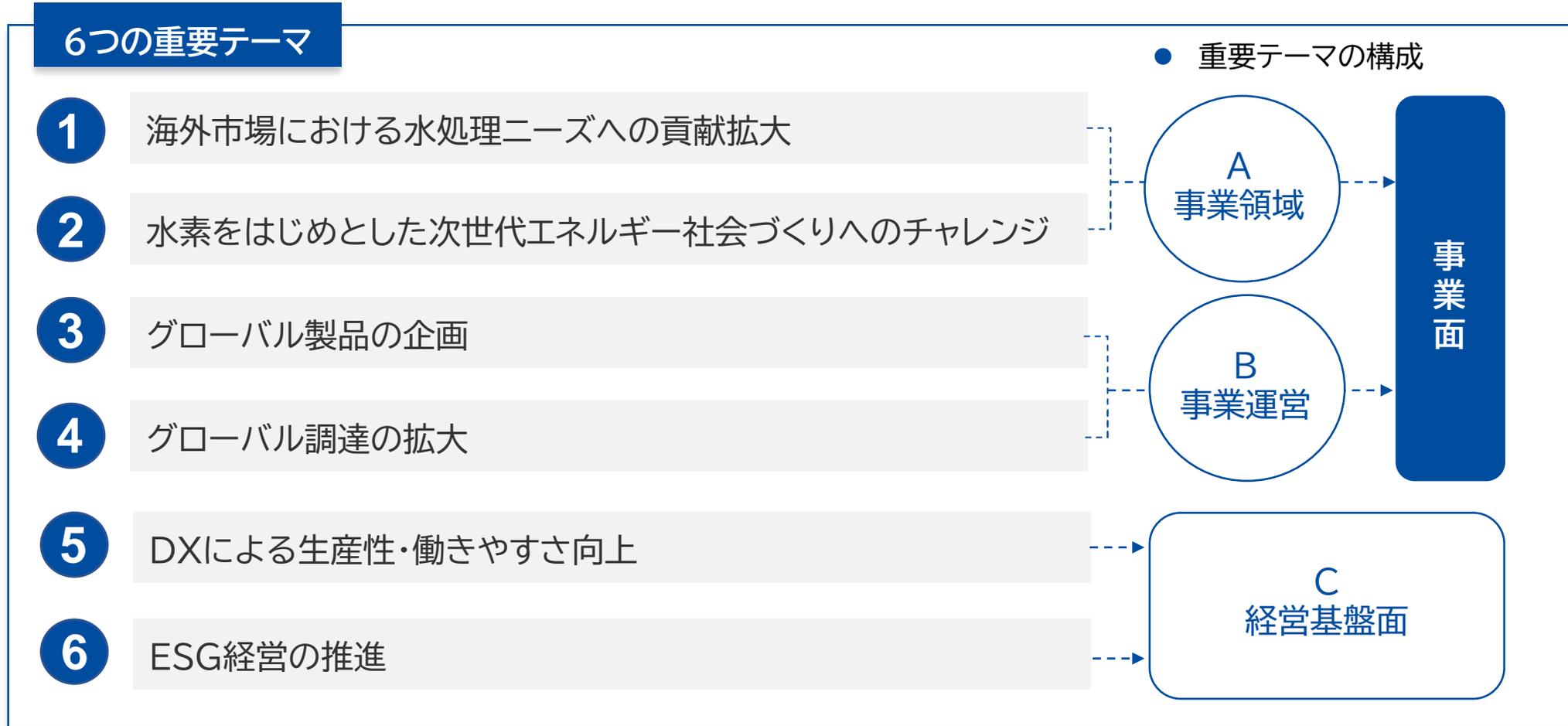
10年ビジョンで実現した
「10年で事業規模を2倍にする」に改めてチャレンジする。



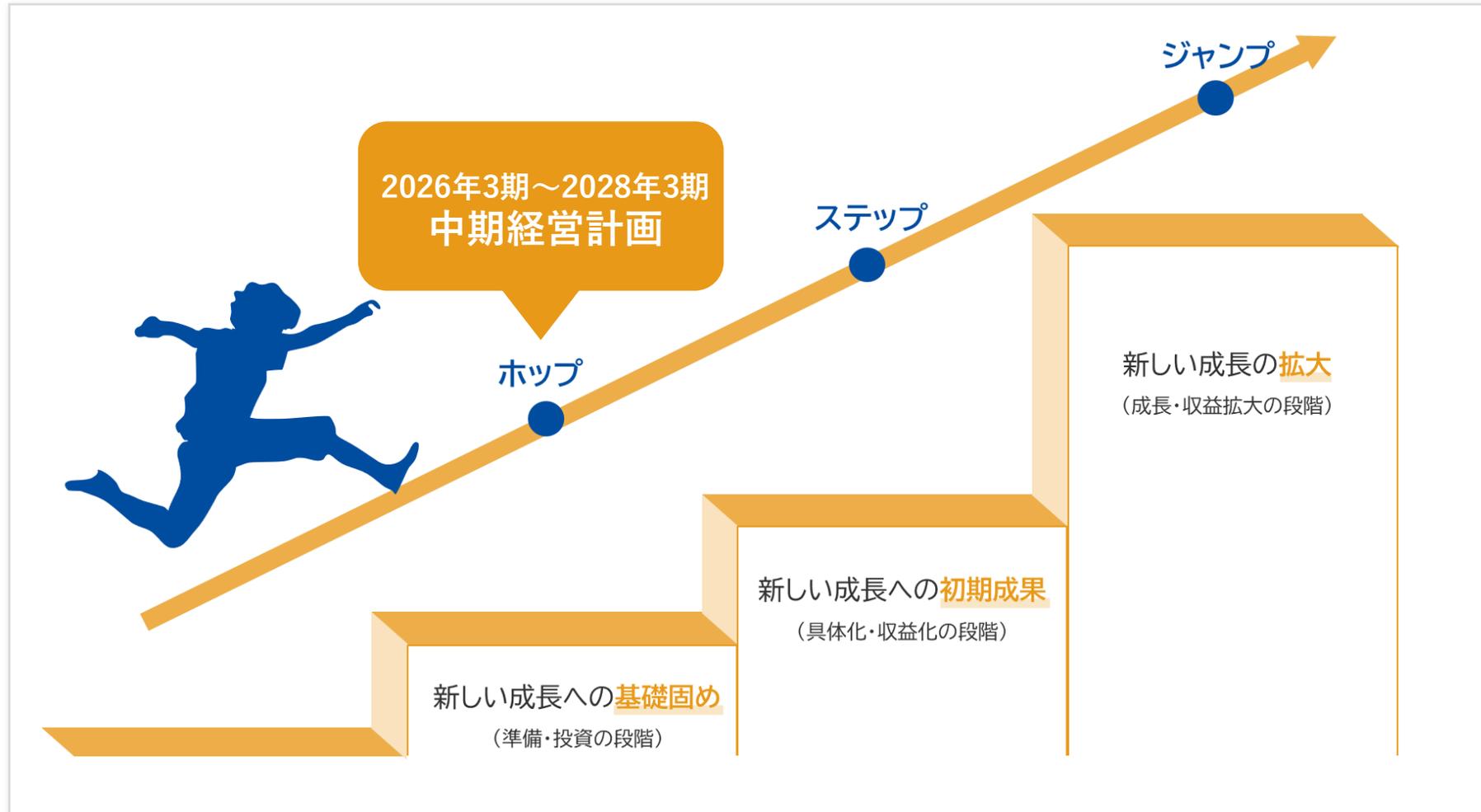
NEXT10では、目標から逆算した(バックキャスト型)新しい取り組みに焦点を当て、それを「重要テーマ」とする。



NEXT10における「重要テーマ」は以下6つ。

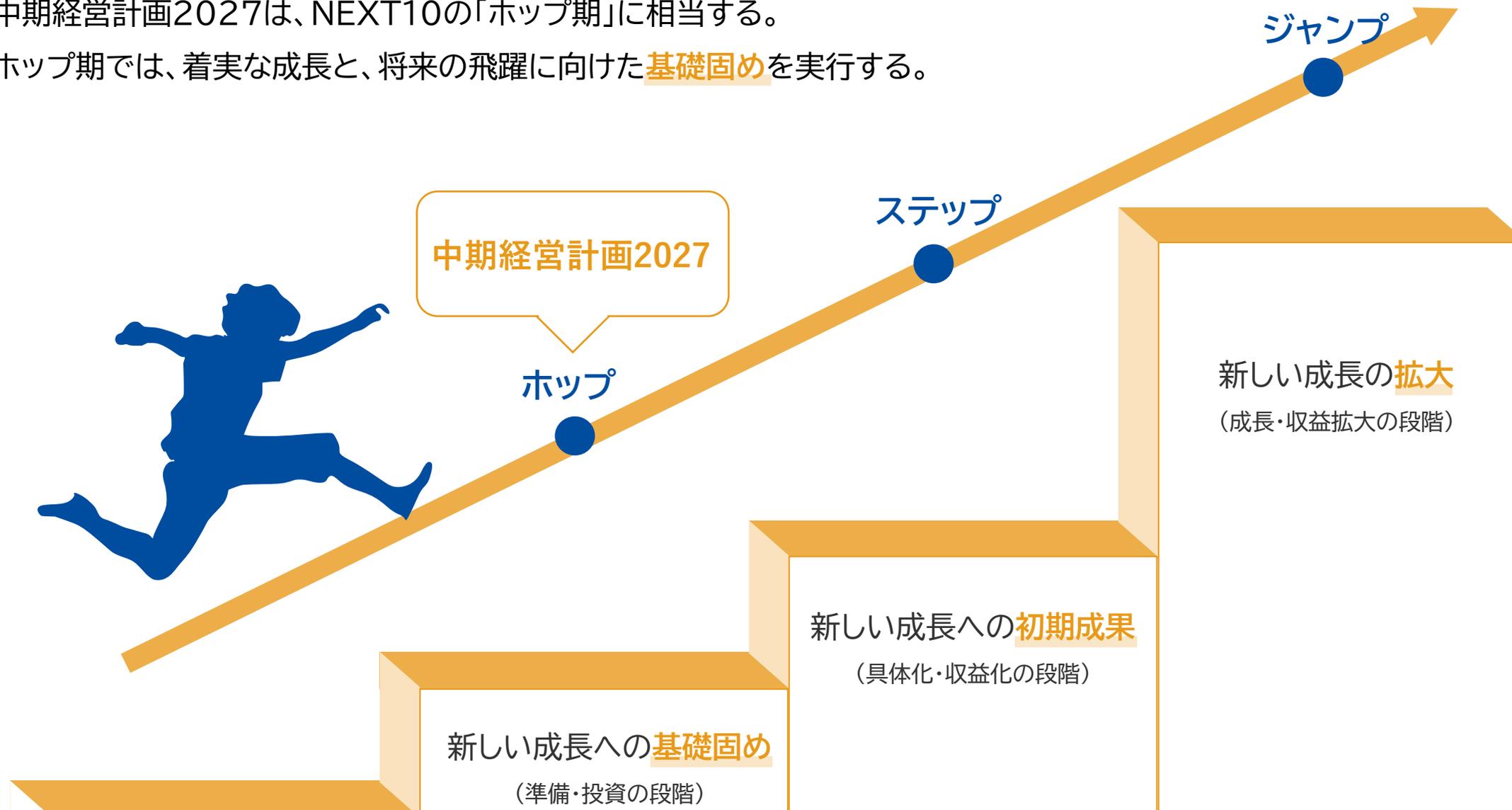


NEXT10の取り組みは **ホップ ステップ ジャンプ** の3段階で進める。



03 中期経営計画2027

中期経営計画2027は、NEXT10の「ホップ期」に相当する。
ホップ期では、着実な成長と、将来の飛躍に向けた**基礎固め**を実行する。



重要テーマ①

海外市場における
水処理ニーズへの貢献拡大

海外未開拓地域への積極的展開

重要テーマ②

水素をはじめとした
次世代エネルギー社会づくりへの
チャレンジ

水素サプライチェーンにおける
流体制御ソリューションのニーズを探索

水素以外の次世代エネルギーの
立上げ動向・方向性を把握

重要テーマ③

グローバル製品の企画

海外ニーズに応じた品質の再定義と
製品化への取り組み

重要テーマ④

グローバル調達の拡大

調達リスクへの対応と
海外調達の推進

「グローバル調達拡大」関連：在庫適正化への取り組み

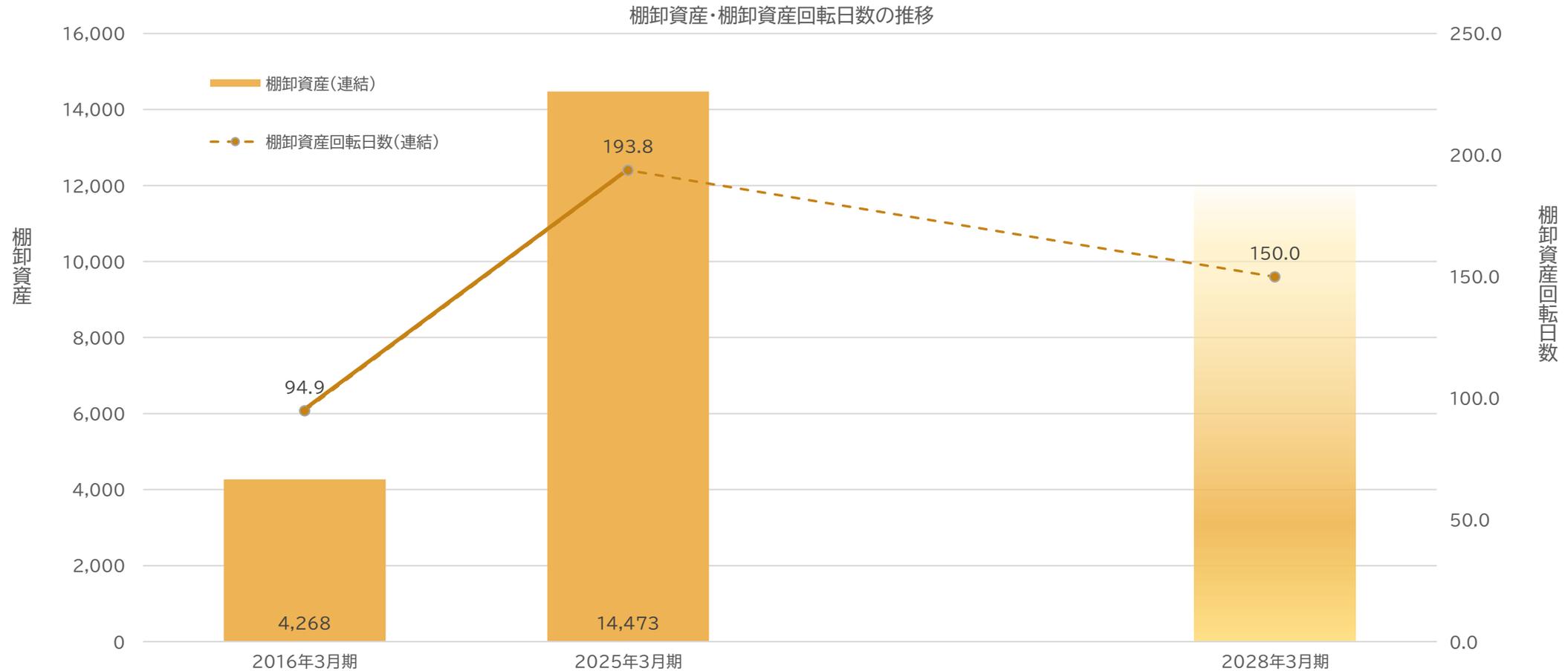
顧客満足度向上を目的とした納期短縮化の手段として在庫を増やす施策をとった。

納期短縮化には一定の効果があったが、需要の一部低迷に伴い、在庫金額が急速に増加しキャッシュ減少が生じている。

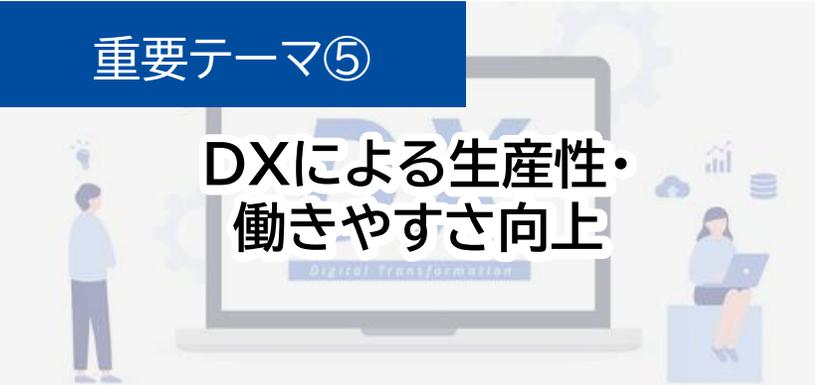
財務基盤の早急な正常化を目指し、在庫回転日数をKPIとして在庫の適正化を重要課題の一つとして取り組んでいく。

単位:百万円

単位:日



重要テーマ⑤



DXによる生産性・
働きやすさ向上

IT化加速による業務効率化で、従業員が本業に集中できる環境を確保

働きやすいワークスタイル促進

重要テーマ⑥



ESG経営の推進

イワキグループ マテリアリティ

地球環境との共生

製品の安全性と品質の追求

環境や人権に配慮した調達の推進

持続的成長を支える人材基盤の整備

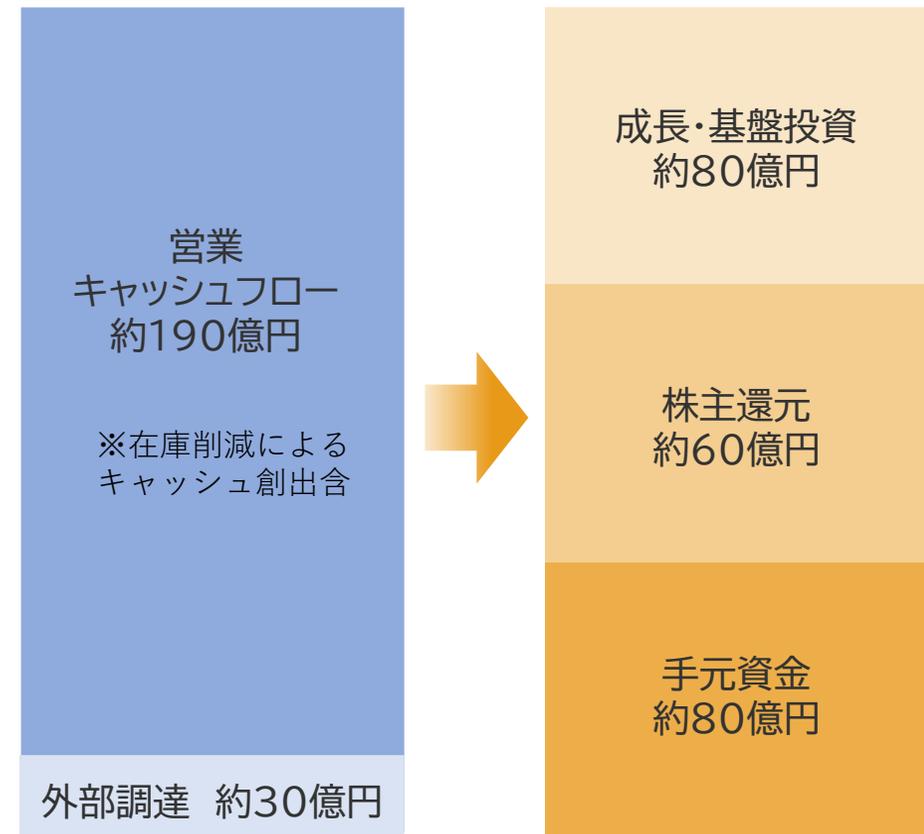
ガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底

財務目標

キャッシュアロケーション

		2025.3期	2028.3期
		実績	目標
売上高		457.6億円	530 億円
国内	国内	217.0億円	235 億円
	海外	240.6億円	295 億円
営業利益		58.4億円	69 億円
営業利益率		12.8%	13%
ROE		12.6%	12%以上の維持
在庫回転日数		193.8日	150 日

2026年3月期～2028年3月期



非財務目標

※主な項目のみ抜粋

1 地球環境との共生

- ・連結GHG排出量(Scope1+2)の削減:2027年度に2020年度比で39%削減
- ・CDP気候変動スコアB 維持

2 製品の安全性と品質の追求

- ・重大な品質クレームの発生件数:0件
- ・ソリューション営業による売上の拡大

3 環境や人権に配慮した調達への推進

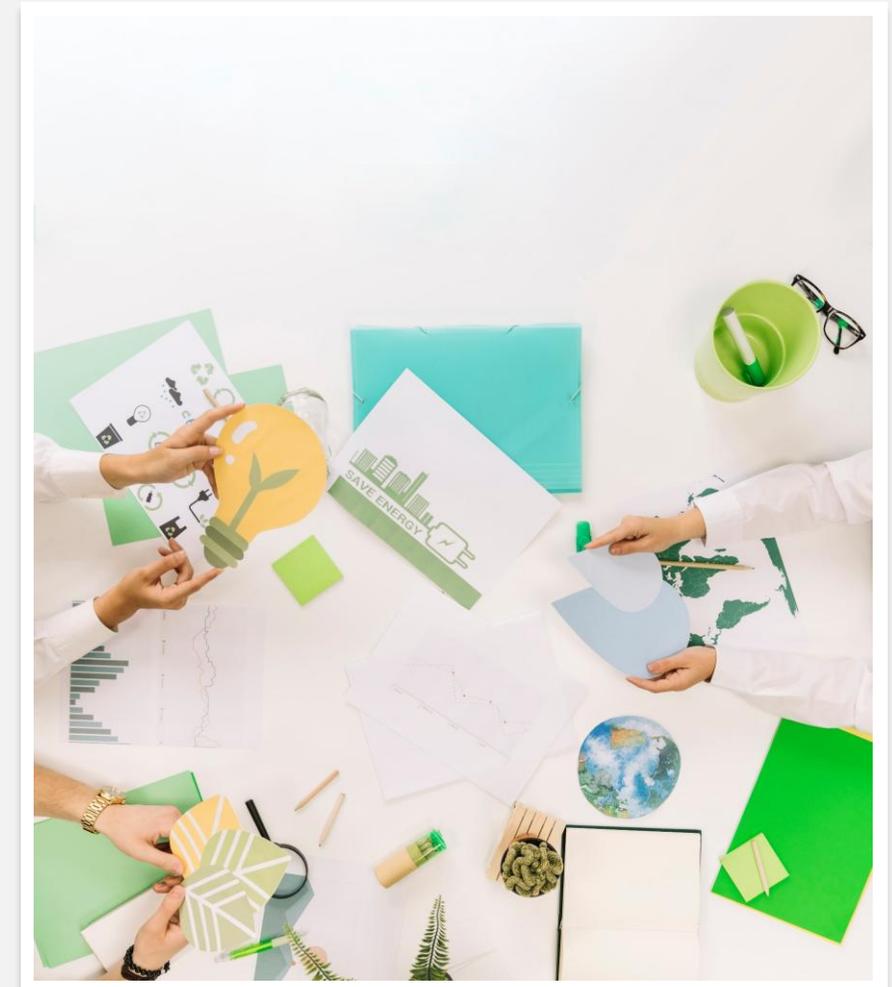
- ・国内主要取引先へのSAQ実施
- ・SAQに関する定量目標の設定

4 持続的成長を支える人材基盤の整備

- ・エンゲージメントスコアの継続改善
- ・育児・介護休業後の復帰率:100%

5 ガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底

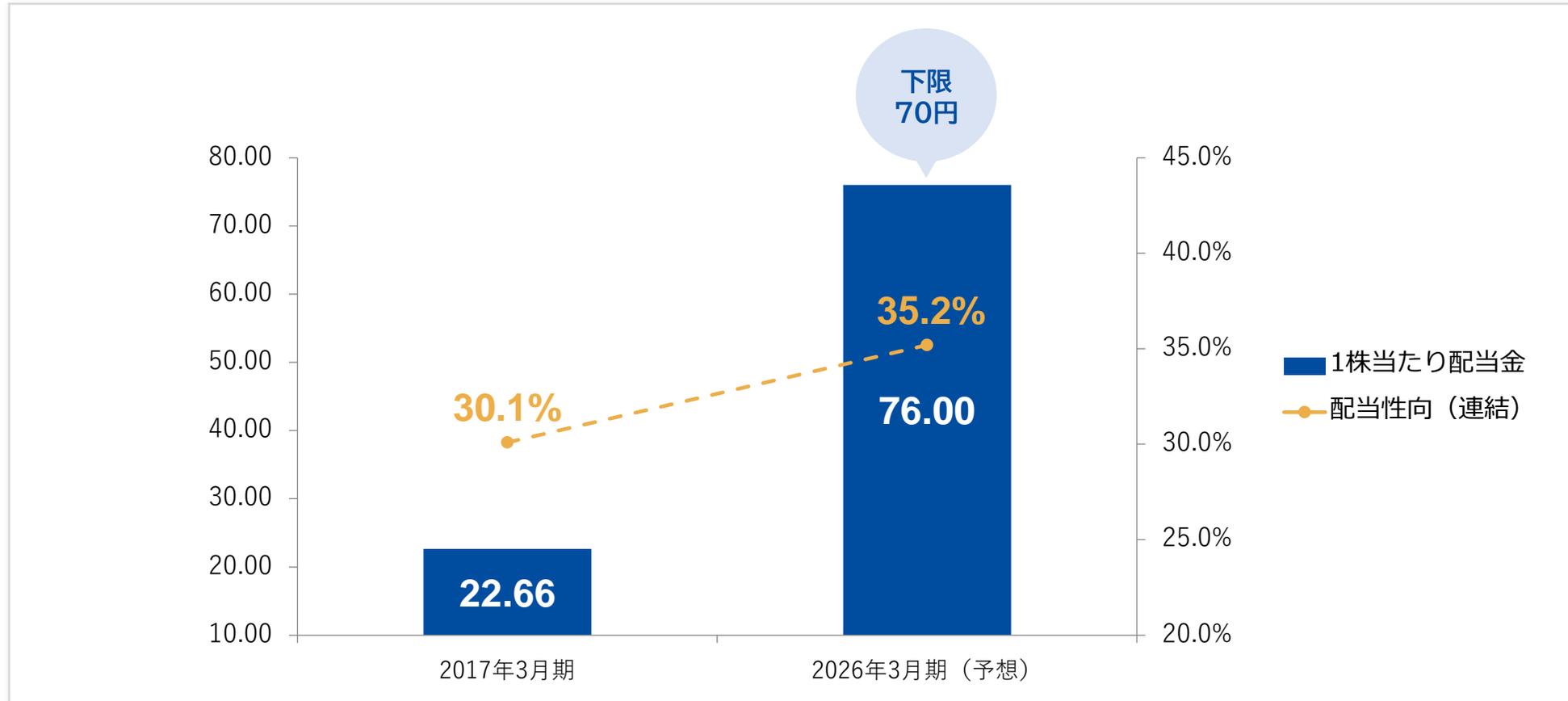
- ・積極的で適切な情報開示:開示内容の継続改善
- ・取締役会の実効性向上:取締役会実効性評価に基づく継続的な改善



旧) 配当性向30%超・安定的な配当

新) 配当性向**35%以上**・下限配当**70円**(2026年3月期～2028年3月期)

※なお、非経常的な特殊要因により親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する場合は、その影響を除いて配当金額を決定することがあります。



※2017年3月期は株式の3分割を考慮し算定しています。(小数点第三位以下は切捨)

この説明会資料に掲載されている、株式会社イワキの業績見通し等の将来に関する記述は、当社がその時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、さまざまなリスクや不確定要素の変動および経済情勢等によってこれらと異なる結果になる場合があります。

当社が開示する情報は、当社に対する理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関するご決定は利用者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。万一これら情報の利用者が何らかの損害を被ったとしても、当社および当社の情報提供者は一切責任を負いません。



The Heart of Industry

【お問い合わせ先】
株式会社イワキ 総務本部 総務部
E-mail : ir@iwakipumps.jp